

西成高校模擬選挙

投開票!



選挙結果!!

<順位>

1位	I・A候補 (太陽の党)	33票 (36.3%)
2位	O・Y候補 (日本の党)	31票 (34.1%)
3位	N・Y候補 (無所属)	27票 (29.7%)

<投票率>

有権者数	投票数	投票率
145	117	80.7%

<男女種別割合>

	有権者	投票数	割合
男	91	66	79.5%
女	62	51	82.3%

<投票種別割合>

	期日前投票	当日投票
投票数	50	67
割合	42.7%	57.3%

12月11日(火)、選択3A教室の前には長蛇の列ができた。投票率は左に記載している通りだが、はたして80.7%という数字は高いのか低いのか、それはみなさんの感じ方次第かと思う。実際の選挙での投票率と比べると高く感じるが、145人のうち28人も投票していないとなると低く感じる。また、117票のうち26票が白票であることにも注目してほしい。白票を入れることはどういう意味をもたらしているのか。また、どのような気持ちで白票を投じたのか気になるところだ。

生徒の感想

3年1組

自分のことだけを考えるのではなく、もっと周りのことやこれからの人達のために政治を考えていかないといけないと感じました。

投票しないと自分にも損があるかもしれない、という事を若者に伝えたらもっと投票率が上がるのではないかと思います。

3年2組

自分だけでなく、自分の子ども、孫のことも考えてしっかり考えて投票したいと思いました。

税や社会保障については自分に身近に関わることだから考えやすいけど、軍などは現実味が無く考えにくいから疎かになりがちだと感じました。

3年3組

自分が暮らしていく日本を作るのは、候補者ではなく有権者である私たちなんだと学びました。

自分の意見を言えるときに言っておかないと、この先の社会がどうなっても文句を言えなくなるし、しっかりとすることによって良くなっていくかもしれないと分かりました。

3年4組

みんなが選挙に行っても投票しないといけないと思いました。また、選挙に行かない人が文句を言うのを辞めて欲しいと思いました。

大人だけが選挙に行けばいいと思っていましたが、18歳から選挙権を持つようになったことで、自分たちにも日本の未来を決める権利があるんだと感じました。

3年5組

政治は国民で決めるというのが決まっているが、その国民が政治について感心を持っていないと感じました。

少子高齢者社会が進んでいく中、慎重にマニフェストを読み投票することが大切だと思った。